

ART NEWS TOKYO

アート・ニュース・トーキョー

2010
7-9

東京 + アート + カルチャー

東京都庭園美術館

東京都江戸東京博物館

江戸東京たてもの園

東京都写真美術館

東京都現代美術館

東京都美術館

東京文化会館

東京芸術劇場

トーキョーワンダーサイト



ART NEWS TOKYO

INTERVIEW

志田未来 / 東京都庭園美術館

ミュージアム&シアター最新情報
2010年7-9月スケジュール



東京都歴史文化財団
TOKYO METROPOLITAN
FOUNDATION FOR
HISTORY AND CULTURE

アート・ニュース・トーキョー 2010 7-9

志田未来さんが巡る 緑に包まれた都会の楽園

白金という立地にありながら、広大な自然の中に佇む東京都庭園美術館。
ここへ女優・志田未来さんが訪れ、散策しました。

心を落ち着かせてくれる
アートと緑のオアシス



今日は、初めて東京都庭園美術館にうかがいました。今まで、美術館という場所に行く機会はなく、私自身、アートはもっと大人にならないとわからない世界なのかな?と思っていたのです。でも、今日来てみて、美術館ってとても心を落ち着かせてくれる場所なんだと思いました。

皇族の方が実際に住んでいたという美術館の内部は、とても豪華で入る時には緊張しました。美術館の中で印象に残ったのは、昔食堂だったというお部屋です。とくに暖炉の上に描かれた外国の庭のような壁画や、天井から下がる大きくて四角いシャンデリアに、たくさんの果物が並んでいたのが面白かったです。それから、暖炉の下のラジエーターは、魚がデザインされているんですね。部屋を見学しながら、「ここは食堂だから、いろんなところに食べ物のデザインがあるのかな」とか、「このお屋敷を建てた人は、こんなに細かいところまでこだわっていたんだ」など、いろんなことを考えました。

でも、東京都庭園美術館で一番びっくりしたのは、美術館の名前にもなっている広い庭園です。目黒駅からすぐ近くの都会の真ん中に、

こんなに自然がいっぱいあったなんて、まったく知りませんでした。

今年7月に公開されるスタジオジブリの映画『借りぐらしのアリエッティ』で、私は主人公アリエッティの声を演じています。これは、古いお屋敷の床下に住む、好奇心旺盛な小人の少女アリエッティと、そこにやってきた人間の男の子との交流を描いたアニメーションなのですが、この映画でも、庭がとても大事な舞台になっているんです。ただそこは、この美術館のように手入れが行き届いた庭ではなく、風が吹くと花がふわーっとなびくような、ありのままの自然があふれる庭。その中でアリエッティは元気いっぱいに生活しているのですが、彼女がツタを上っていく時に揺れる葉っぱとか、雨のしずくがキラキラ落ちたりする映像などは、すごくきれいで印象的でした。

今日はとても天気良くて、緑もきれいで、本当に気持ち良く庭園を歩くことができました。アニメの中の庭は空想の世界ですが、庭園美術館の庭はいつでも来ることができるので、また違う季節の頃に、プライベートでも来てみたいと思います。



PROFILE

しだ・みらい 1993年神奈川県生まれ。6歳より俳優として活動し、ドラマ『女王の教室』（'05年）の神田和美役で注目を集める。以後、『14才の母』（'06年）『小公女セキラ』（'09年）などドラマのほか、『母べえ』（'08年）『食堂かたつむり』（'10年）など数々の映画作品にも出演。『誰も守ってくれない』（'09年）では、第33回日本アカデミー賞新人俳優賞を受賞。現在は、ドラマ『ハンマーセッション』にも出演中。

スタジオジブリ最新作映画『借りぐらしのアリエッティ』

7月17日(土)全国公開

企画・脚本:宮崎駿 監督:米林宏昌

声の出演:志田未来、神木隆之介 他

東京都庭園美術館

1933(昭和8)年に建てられた朝香宮邸をそのままの形で活用し、'83(昭和58)年にオープンした美術館。20〜30年代にヨーロッパを席卷したアール・デコ様式を今に伝える建物は、東京都の有形文化財に指定されており、内部にはフランスのインテリアデザイナー、アンリ・ラバンの内装や、ガラス工芸家ルネ・ラリックがデザインしたガラスのレリーフなどを見ることができ。芝生広場、日本庭園、西洋庭園からなる広大な庭園も、常時公開されている。



有元利夫《厳格なカノン》1980
三番町小川美術館蔵 ©Yoko Arimoto

没後25年 有元利夫展 天空の音楽

7月3日(土)ー9月5日(日)

個人の邸宅だった美術館だからこそ堪能できる、
有元利夫の静謐な世界

イタリアの古いフレスコ画のような優しい色合いに、謎めいた人物像。画家・有元利夫(1946-1985)の静謐な世界は、彼の没後25年経った今も色褪せることはありません。32歳の時、《花降る日》で安井賞特別賞を受賞し、「画壇のシンデレラボーイ」として一躍脚光を浴びながらも、38歳という若さでこの世を去りました。彼の代表的なモチーフと言えば、天上から音楽が降ってくるような異空間に描かれた、東洋人とも西洋人ともつかないデフォルメされた登場人物です。有元はそれらを、岩絵具や箔などを用いて、「風化」したような独特の画面に描き上げました。本展では、東京藝術大学の卒業制作として発表し、大学の買い上げとなった《私にとってのピエロ・デラ・フランチェスカ》から、亡くなる前年、有元にとって最後の大作となった《出現》まで、有元の代表作を紹介いたします。旧朝香宮邸という邸宅美術館で観る有元利夫の絵画世界は、ますます温かみを感じられるでしょう。

入場料 一般1,000(800)円、学生800(640)円、小中高生と65歳以上500(400)円。()内は20名以上の団体料金。身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・被爆者健康手帳をお持ちの方とその付添者1名は無料。第3水曜日は、65歳以上の方は無料。

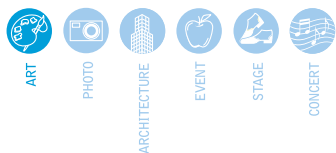
会場 東京都庭園美術館
休館 第2・4水曜日(祝日の場合は翌日)
主催 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館、産経新聞社
協力 三番町小川美術館
年間協賛 戸田建設株式会社、東京ガス株式会社
企画協力 イデア・ジャパン



有元利夫《花降る日》1977
三番町小川美術館蔵 ©Yoko Arimoto



有元利夫《私にとってのピエロ・デラ・フランチェスカ》(10点のうちの1点)
1973 東京藝術大学蔵 ©Yoko Arimoto



ココが見どころ!

「見ているうちにどこからともなくチェンバロの調べが聞こえてくるような、そこに音楽が漂っているような画面を作りたい」とは、画家が絵に込めた思いです。みなさんにはどんな調べが聞こえてくるのでしょうか。そっと“目”をすまして聴いてみてください。

東京都庭園美術館 学芸員 河村三枝子

おすすめスポット

夏の夜間開館

庭園美術館では毎年、夏に夜間開館の時期を設けています。蝉時雨の庭園が宵闇につつまれ、やがて美術館全体がしっとりとした夜の表情へと変わります。もともと個人の邸宅であったこの建物は、おそらく夜会などで夜にお客様をお迎えすることが多かったのではないのでしょうか。ガラスレリーフや照明器具などの館内装飾も本領発揮です。

期間:8月14日(土)ー8月20日(金) 20:00まで開館(入館は19:30まで)





〈本小札濃勝系威二枚胴具足(ほんこざねこいかちとおどしにまいどうぐそく) 1843(天保14) 江戸東京博物館蔵

大昆虫博

6月22日(火)ー9月5日(日)

未だかつてない?!

虫から学ぶ新しいスタイルの昆虫展

この時期全国各地で開催される「昆虫イベント」は、日本の夏の風物詩。本展も、いつの時代も子どもたちの胸をときめかす「虫」をテーマにした展覧会です。ただし、従来のようにその生態を学ぶだけでなく、虫から「さまざまなものを学ぶ」という新たなスタイルに挑戦します。たとえば、虫の標本や映像、写真で学ぶ日本の四季、兜や印籠などの工芸品や、浮世絵などに描かれた虫に見る日本人と虫とのかわり、そして虫の特徴を活用した最新技術の紹介など……。 「虫の音を楽しむ」という、世界的に珍しく、雅な習慣を持つ日本人と虫との関係を、あらゆる視点から検証します。ナビゲーターには、解剖学者の養老孟司氏、生物学者の池田清彦氏、『ファール昆虫記』の翻訳で知られるフランス文学者の奥本大三郎氏をお迎えし、「虫好きオヤジ」の視点から、虫と親しむことの大切さを来館者に伝えます。夏休みの自由研究にもってこいの展覧会です。

入 場 料	一般1,300(1,040)円、学生1,040(830)円、小中高生と65歳以上650(520)円。()内は20名以上の団体料金。身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・被爆者健康手帳をお持ちの方とその付添者2名は無料。
会 場	東京都江戸東京博物館 1階展示室
休 館	月曜日(祝日の場合は翌日)
主 催	公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館、読売新聞社、ヒーローズエデュテイメント、東映
後 援	文部科学省、環境省、NHK、東京都教育委員会、千葉県教育委員会、埼玉県教育委員会、神奈川県教育委員会、群馬県教育委員会、栃木県教育委員会、茨城県教育委員会、山梨県教育委員会、GTF
協 賛	オリンパスイメージング株式会社
協 力	集英社
展示協力	NPO法人むしむし探し隊(養老孟司、奥本大三郎、池田清彦)、やくみつる、名和昆虫博物館、兵庫県立歴史博物館、海野和男、東京大学 先端化学技術研究センター 神崎亮平、工学院大学 工学部機械システム工学科 鈴木健司、STU研究所 小檜山賢二、慶応義塾大学マイクロアーカイビング プロジェクト
映像協力	NHKエンタープライズ
監 修	奥本大三郎



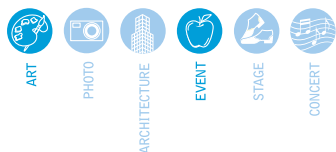
〈蟻螂前立(どうろうまえだて) (5P本小札濃勝系威二枚胴具足部分)



〈鼈甲台貝金銀象嵌群蝶櫛 (べっこうだいかいぎんぞうがんぐんちようくし) 江戸東京博物館蔵



〈ショウリュウバッタの顔〉2005 撮影:海野和男



ココが見どころ!

見どころのひとつが、日本で最初の昆虫専門博物館「名和昆虫博物館」が所蔵する標本群です。色や形の美しさに、思わず見入ってしまいます。また、「日本人と虫たち」のコーナーでは、昆虫がデザインやシンボルとしてあしらわれた工芸品なども紹介します。

東京都江戸東京博物館 学芸員 橋本由起子

おすすめスポット

桜茶寮(さくらざりょう)

江戸城の天守閣と同じ高さの江戸博最上階にあるレストランです。手前には隅田川、遠くには新宿方面を望みます。江戸時代のレシビを現代にアレンジしたお食事や甘味喫茶メニューが好評。江戸の食文化を風情あふれる店内でお楽しみください。お弁当のご予約も承ります。

営業時間:11:00~18:00(土11:00~20:00) オーダーストップ:閉店30分前 TEL:03-5611-5550





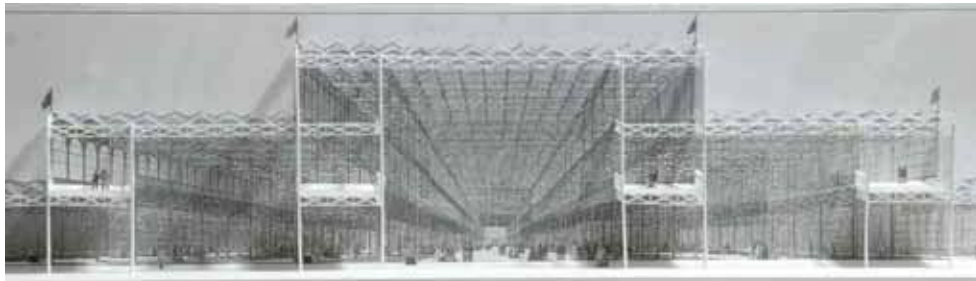
特別展「けんちくのしくみ」

6月19日(土)ー9月5日(日)

**建築のなりたちから未来の建築まで、
建築のしくみがよくわかる!**

建築模型や素材サンプルを提示しながら、「建築のしくみ」をわかりやすく紹介する展覧会です。古墳や竪穴式住居のような原始的な建築から始まり、アーチやドームなど様々な技術を駆使した世界中の多様な建築、そしてこれからの建築のあり方などを提示します。日本の建築について紹介するコーナーでは、伊勢神宮や白川郷の合掌造り、東京ドームといった有名な建造物の模型、そして東京都庁舎をはじめとする超高層ビルの耐震構造、さらに東京ドームや東京スカイツリーの鉄骨実寸図をパネル展示し、その大きさを体感することもできます。そのほか、大工、左官職人、建築家、施工業者といった建築にたずさわる人々に焦点を当て、その過程や技術、器具などを紹介するコーナーなども注目です。「建築」というと、一見難解そうなイメージがありますが、子どもから大人まで、家族で楽しめるような趣向が凝らされています。

入 場 料	一般400(320)円、学生320(250)円、中学生(都外)、高校生と65歳以上200(160)円。()内は20名以上の団体料金。小学生以下・中学生(都内)、身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・被爆者健康手帳をお持ちの方とその付添者2名は無料。
会 場	江戸東京たてもの園 展示室
休 園	月曜日(祝日の場合は翌日)
主 催	東京都 江戸東京たてもの園



クリスタルパレス 模型



国立屋内総合競技場(代々木体育館) 模型

上掲3点 アーキエアリング・デザイン展 2008 出展作品 撮影:加藤詞史



白川郷合掌造り 模型



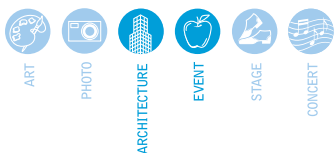
東京タワー
早稲田大学理工学研究所蔵



出雲大社 模型
ものつくり大学白井研究室制作



鳥の巣 キムネコウヨウジャク
画:鈴木まもる



ココが見どころ!

建築模型を中心にして、アーチ、ドーム、タワーなどの建築のしくみを紹介します。また新聞紙アドーム造りや積み木などの建築のしくみを体感するワークショップも開催します。親子揃って、いろいろな建築のこれまでとこれからに関心をもってもらえれば幸いです。

江戸東京たてもの園 学芸員 高橋英久

おすすめスポット

下町夕涼み

復元建造物に灯がともり「不思議の町」が出現する、毎年恒例の江戸東京たてもの園の夜間開園日。20:30まで開園時間を延長し、様々なイベントを開催します。浴衣でご来園のお客様は入園料が2割引に。見て、遊んで、踊って、食べて。お友達やご家族をお誘いの上、どうぞ来園ください。

日程:7月31日(土)・8月1日(日) 14:00~20:30





オノデラユキ《12 Speed》2008

オノデラユキ 写真の迷宮へ

7月27日(火)ー9月26日(日)

独自のユーモアと都会的なセンス、
いざ! オノデラユキの写真の迷宮へ

パリを拠点に国際的に活躍する写真家・オノデラユキ。独学で写真技術を身につけた彼女は、90年代から頭角をあらわし、2003年には写真集『カメラキメラ』で第28回木村伊兵衛賞を、2006年にはフランスで最も権威のある写真賞・ニエプス賞を受賞しました。そんなオノデラユキの初期から近年までの作品約60点を紹介します。日常の中に潜む謎めく空間を写し出す、ミステリアスな視覚世界をたっぷりとお楽しみください。

入場料:一般700(560)円、学生600(480)円、中高生と65歳以上500(400)円。()内は20名以上の団体料金。小学生以下、障害者手帳をお持ちの方とその付添者1名は無料。第3水曜日は、65歳以上の方は無料。 **会場:**東京都写真美術館 2階展示室 **休館:**月曜日(祝日の場合は翌日) **主催:**東京都 東京都写真美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会



オノデラユキ《Transvest》2002-

私を見て! ヌードのポートレート

7月31日(土)ー10月3日(日)

ヌード写真を中心に、社会や風俗、思想と様々な分野が絡み合う表現を取り上げます。ヌードは写真創生期から既に登場し、多くの写真家が作品を残しています。本展では、小関庄太郎、吉川富三ほかを紹介。黎明期から現代までの作品を通し、その時代の人々を表す対象としてヌード写真を展覧します。

入場料:一般500(400)円、学生400(320)円、中高生と65歳以上250(200)円。()内は20名以上の団体料金。小学生以下、障害者手帳をお持ちの方とその付添者1名は無料。第3水曜日は、65歳以上の方は無料。 **会場:**東京都写真美術館 3階展示室 **休館:**月曜日(祝日の場合は翌日) **主催:**東京都 東京都写真美術館



小関庄太郎《二人像》1932



ココが見どころ!

オノデラの作品は、日常の風景を捉えながらも、私たちの想像を超えた視覚世界を体験させてくれます。独自のユーモアと都会的なセンスで巧みに観る者を惹きつけながら、私たちが写真の迷宮へと誘う表現の世界をご堪能ください。

学芸員 岡部友子

おすすめスポット

ワークショップ

写真と映像の専門美術館として、入門から専門知識を深めるためのワークショップを行っています。基本的なモノクロプリントを制作する「BWプリント・ワークショップ」や19世紀の映像装置の体験キットを作る「驚き盤をつくらう」など、小学生から大人まで楽しめるプログラムです。夏休み特別ワークショップを8月21日(土)・22日(日)に開催予定(事前申込制)。ぜひ、ご参加ください。

※詳細はホームページ(<http://www.syabi.com>)をご覧ください。





【参考図版】大巻伸嗣《ECHOES - INFINITY; Kumamoto》(部分)2009
撮影:矢加部咲 会場・写真提供:熊本市現代美術館

こどものにわ

7月24日(土)ー10月3日(日)

赤ちゃん連れのお母さんも大歓迎！
小さな子どもたちと共有するアート

小さな子どもたちはアートをどのように認識するのでしょうか？子どもたちの認識世界や心象風景に着目して構成する本展は、大巻伸嗣や出田郷といった若手アーティストたちが、参加型・体感型の大型インスタレーションで、来館者をワクワクさせる夢の空間を作りだします。小さな子どもならではの美術との触れあい方は、きっと見ている大人たちに、様々な発見や驚きを呼び起こしてくれることでしょう。

入場料:一般1,100(880)円、学生・65歳以上800(640)円、中高生600(480)円。()内は20名以上の団体料金。小学生以下、障害者手帳をお持ちの方とその付添者2名は無料。第3水曜日は、65歳以上の方は無料。 **会場:**東京都現代美術館 企画展示室地下2階、アトリウム **休館:**月曜日 (8月16日、9月20日は開館、9月21日は休館、8月23・30日は休室) **主催:**公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館 **助成:**財団法人地域創造 **協賛:**資生堂 **協力:**江東区、アプリカ育児研究所、株式会社エイブラフト、株式会社エース、華陽堂(上野書道絵画用品センター)、興和サイン株式会社、株式会社タジマ、恒川フエルト株式会社、株式会社中川ケミカル、深川資料館通り商店街、江東区毛利保育園



【参考図版】KOSUGEI-16《AC-21》2008
金沢21世紀美術館蔵



サキサトム《ガーデン》2010@サキサトム

借りぐらしのアリエッティ × 種田陽平展

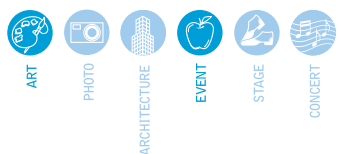
7月17日(土)ー10月3日(日)

2010年7月に公開される、スタジオジブリの新作映画『借りぐらしのアリエッティ』。このアニメーションに出てくる小人たちの世界を、『スワロウテイル』や『キル・ビルVol.1』などを手掛けてきた美術監督・種田陽平が三次元空間に再現します。アリエッティの世界を、ぜひ体感してください。

入場料:一般・学生1,200(1,100)円、中高生900(800)円、小学生600(500)円。()内は20名以上の団体料金。障害者手帳をお持ちの方とその付添者2名は無料。第3水曜日は、65歳以上の方は無料。 **会場:**東京都現代美術館 企画展示室1階、3階 **休館:**月曜日(7月19日、8月16日、23日、30日、9月20日は開館、7月20日、9月21日は休館) **主催:**公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館、日本テレビ放送網、マンマユート団 **企画制作協力:**スタジオジブリ、三鷹の森ジブリ美術館 **後援:**読売新聞東京本社、TOKYO FM/tvk **協賛:**KDDI株式会社 **協力:**A FACTORY/日東化工



『借りぐらしのアリエッティ』 ©2010 GNDHDDTW



ココが見どころ！

赤ちゃんの美術館デビューにピッタリな、乳幼児から大人まで楽しめる体感型・参加型の作品がいっぱいの展覧会です。お子さん、お孫さんと一緒に是非、お出かけください。小さなお子さんの思いがけない反応や興味の持ち方に、大人も新しい驚きや発見があることでしょう。

東京都現代美術館 学芸員 難波祐子

おすすめスポット

エントランス・スペース

当館では春にエントランス・スペースをリニューアル！館内のサインが見やすく、わかりやすくなったほか、ホールに設置されたイスも新しいデザインに生まれ変わりました。低反発クッションでできた赤や黄色などのカラフルなイスは、目にも楽しくとっても快適。観覧のあい間に、ぜひ座り心地を試してみてください。





夏@東京文化会館 音楽三昧の7日間

7月30日(金)~8月5日(木)の7日間、クラシックの殿堂・東京文化会館が贈るコンサート・シリーズ。この夏は、上野の森でクラシック音楽の体験を!

●夏休みモーニングコンサート ~500円で楽しむクラシック!~

7月30日(金)【ピアノトリオが放つ虹色クラシック】

出演:Trio Prism(トリオ プリズム)-ヴァイオリン/瀧村依里*第3回東京音楽コンクール弦楽部門第1位、チェロ/伊藤文嗣、ピアノ/入江一雄 曲目:メンデルスゾーン/ピアノ三重奏曲第1番ニ短調作品49 他

8月3日(火)【ソプラノデュオの美味しいクラシック】

出演:ソプラノ/駒井ゆり子*第1回東京音楽コンクール声楽部門第2位、ソプラノ/田中麻理*第1回東京音楽コンクール声楽部門入選、ピアノ/岩撫智子 曲目:オリジナルオペレッタ「お料理ボンジュール」 他
開演:11:00(開場10:30) 会場:東京文化会館 小ホール 料金:全席自由500円(1回券) 主催:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京文化会館 チケット取扱:東京文化会館チケットサービス 他

●夏の音楽浴

~若き天才たちが奏でる真夏のクラシックコンサート~

7月31日(土)【宮田大 チェロリサイタル】

出演:チェロ/宮田大、ピアノ/柳谷良輔 曲目:R.シュトラウス/チェロソナタ ヘ長調 Op.6 他

8月1日(日)【北村朋幹 ピアノリサイタル】

出演:ピアノ/北村朋幹 曲目:J.S.バッハ~F.ブゾーニ/ニジャコンヌ 他

開演:14:00(開場13:30) 会場:東京文化会館 小ホール 料金:全席指定1回券3,000円、ペア券5,000円、2公演セット券5,000円 ※東京文化会館友の会割引あり 主催:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京文化会館 チケット取扱:東京文化会館チケットサービス 他

●東京文化会館《響の森》vol.28

清水和音 3大ピアノコンチェルトに挑む

8月2日(月) 開演:19:00(開場:18:20)

出演:指揮/大友直人、ピアノ/清水和音、管弦楽/東京都交響楽団 曲目:ベートーヴェン/ピアノ協奏曲第3番 ハ短調 Op.37、リスト/ピアノ協奏曲第1番 変ホ長調、ラフマニノフ/ピアノ協奏曲第3番ニ短調 Op.30 会場:東京文化会館 大ホール 料金:S席6,000円 A席4,000円 B席2,000円 ※東京文化会館友の会、他各種割引あり 主催:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京文化会館 チケット取扱:東京文化会館チケットサービス 他



Trio Prism(トリオ プリズム)@S.Imura



宮田大



清水和音@K.Miura

夏休み子ども音楽会 2010《上野の森文化探検》

8月4日(水) 開演:11:00[12:00終演予定](開場:10:30)

子どもたちに、クラシック音楽を広く紹介し、親しんでもらうためのオーケストラ・コンサート。上野地域の動物園、美術館、博物館等8施設の特典バスポート付き。

出演:指揮とお話/大友直人、管弦楽/東京都交響楽団 曲目:レスピーギ/「ローマの松」より「アッピア街道の松」他 会場:東京文化会館 大ホール 料金:(参加施設常設展無料入場・企画展割引等を含む)小中学生1,000円(全席共通)、大人S席3,000円、A席2,000円、B席1,000円 主催:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京文化会館、上野地区観光まちづくり推進会議 チケット取扱:東京文化会館チケットサービス 他

夏休みバックステージツアー

第1回 8月4日(水) 開始:13:30(集合:13:15)
第2回 8月5日(木) 開始:11:00(集合:10:45)
第3回 8月5日(木) 開始:14:00(集合:13:45)

会場:東京文化会館 大ホール 所要時間:約1時間 定員:各回100名 対象:小学生以上 参加費:200円(保険料含む) 主催:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京文化会館 お申込み:東京文化会館チケットサービス ※小学生の方は、必ず保護者の方とお越しください。※階段の昇降がありますので、あらかじめご了承ください。※未就学児童の入場はご遠慮いただいております。

第8回東京音楽コンクール

公開審査で行われる第2次予選と本選。今年の本選は、改修工事休館のため東京芸術劇場にて開催されます。音楽家の新星誕生の場に、ぜひお立会いください。

第2次予選(セミファイナル)

7月12日(月) 金管部門 7月13日(火) 弦楽部門
7月18日(日) 声楽部門 7月19日(月) ピアノ部門

開演:各日10:30(開場:10:00) 会場:東京文化会館 小ホール 出演:第1次予選通過者 ※審査の都合により、途中で演奏を打ち切る場合があります。※審査委員席及び一部の客席にはお座りいただけません。 料金:全席自由 各部門500円 チケット取扱:東京文化会館チケットサービス
本選(ファイナル)

8月23日(月) 声楽部門 8月24日(火) 金管部門
8月26日(木) ピアノ部門 8月27日(金) 弦楽部門

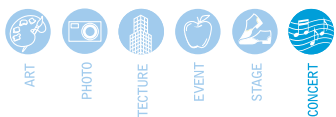
開演:各日18:00(開場:17:30) 会場:東京芸術劇場 大ホール 料金:全席指定一般2,000円、シルバー(65歳以上)、ハンディキャップ、友の会会員1,500円、ジュニア(18歳未満)/学生1,000円 ※審査委員席及び一部の客席にはお座りいただけません。 主催:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京文化会館、読売新聞社、花王株式会社、東京都 チケット取扱:東京文化会館チケットサービス 他



大友直人
©kaburagi-amanagroup



第7回東京音楽コンクール本選
加藤大樹(ピアノ部門第1位)



ココが見どころ!

東京文化会館では、7月30日(金)から8月5日(木)までの7日間を「夏@東京文化会館」と題して、バラエティ豊かな催し物を揃え、夏休みを楽しく過ごしていただく特別期間としました。是非この機会に東京文化会館にお越しください。

東京文化会館 事業企画課 井上政芳

おすすめスポット

レストラン フォレスティユ

1961(昭和36)年の開館当時から館内で営業しているレストラン。看板メニューはドミグラスソースを用いた肉料理やチャップスイ(洋風中華丼)など。その他、月替わりで注目公演にちなんだ創作料理「プログラムメニュー」を提供。歴史ある建物で味わう老舗の西洋料理は格別です。ぜひ、ご利用ください。

営業時間:11:00~19:00 ※ホール公演日により営業時間が異なります。TEL:03-3821-9151



ショパン生誕200年記念

東京芸術劇場 Presents
クラシカル・プレイヤーズ東京 演奏会(オリジナル楽器使用)

8月6日(金) 開演:18:30(開場:18:00)

オリジナル楽器によるオーケストラと、仲道郁代(ショパン時代のピアノを使用)が、ショパンの名曲をお届けします。この貴重な機会をお見逃しなく!

出演:指揮/有田正広、ピアノ/仲道郁代(使用楽器:プレイエル社製、1839年バリ) ※ショパンが所有していた同モデルのピアノ ナビゲーター/朝岡聡 **曲目:**ヴィヴァルディ「四季」から夏、モーツァルト/歌劇「フィガロの結婚」序曲、交響曲第40番から1楽章、ベートーヴェン/交響曲第7番から1楽章、ショパン/ピアノ協奏曲第1番 **会場:**東京芸術劇場 大ホール **料金:**S席4,000円、A席3,000円、B席2,000円 ※全席指定、東京文化会館友の会割引有り **主催:**公益財団法人東京都歴史文化財団 東京芸術劇場 **企画制作:**東京芸術劇場 **助成:**芸術文化振興基金 **協賛:**ミュージックスタジオフォルテ ※未就学児童の入場はお断りいたします。※本公演はオリジナル楽器を使用する演奏会のため、販売する客席数を制限いたしますのでご了承ください。 **チケット取扱:**東京芸術劇場、東京文化会館チケットサービス 他 ※公演スケジュール等、詳細はホームページをご覧ください。



有田正広



仲道郁代
撮影:Kiyotaka Saito

ランチタイム・パイプオルガンコンサート

Vol.90 7月21日(水) 出演:オルガン/柳澤文子

Vol.91 8月10日(火) 出演:オルガン/新山恵理 リコーダー/太田光子、浅井愛、水内謙一

Vol.92 9月16日(木) 出演:オルガン/小林英之(アンサンブルを予定)

世界最大級のパイプオルガンを無料でお楽しみいただけるコンサート。

夏休みは、子どもも楽しめる曲目を取り上げるほか、リコーダーとのアンサンブルも!

開演:12:15(開場11:45) 会場:東京芸術劇場 大ホール 料金:無料

主催:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京芸術劇場 ※詳細はホームページをご覧ください。

オックスフォード大学演劇協会 (OUDS)

『じゃじゃ馬ならし』*英語上演/日本語字幕

8月7日(土) 開演:18:30(開場:18:00)

8月8日(日) 開演:13:00(開場:12:30)

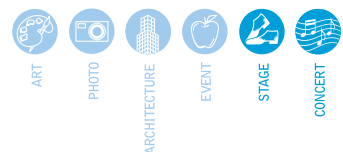
オックスフォードの学生たちによる、英国で最も古い歴史と伝統を持つ劇団が、2年ぶりに来日。躍動感あふれる、シェイクスピア初期の痛快喜劇を上演します。

作:ウィリアム・シェイクスピア 出演:オックスフォード大学演劇協会 会場:東京芸術劇場 小ホール2

料金:一般2,500円、学生2,000円(劇場チケットサービスにて前売のみ取扱) 主催:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京芸術劇場 チケット取扱:東京芸術劇場チケットサービス 他 ※詳細はホームページをご覧ください。



『ロミオとジュリエット』(’08年)より
撮影:鶴川慧一



ココが見どころ!

TACT/FESTIVALでは、海外から子ども向けパフォーマンスの数々がお目見え、OUDSの『じゃじゃ馬ならし』はシェイクスピア作品の原語上演、そして、アジアきってのフィジカルシアター『快快』(日本)と『B-Floor』(タイ)が注目のコラボレーション...、芸劇の夏は国際色豊かなラインナップでおおくりします!

東京芸術劇場 事業企画課 玉塚充

TACT / FESTIVAL TOKYO

8月6日(金)―8日(日) 会場:東京芸術劇場 小ホール1

8月10日(火)―15日(日) 会場:東京芸術劇場 小ホール2

TACT/FESTIVAL(国際児童青少年芸術フェスティバル)では、子どもだけでなく、大人が見ても楽しめます。世界各国で子ども向け・親子向けに上演され、高く評価されている舞台作品を上演します。『エコア』(フランス)、『名無しのエリーゼ』(ドイツ)、『ロビンソン&クルーソー』(デンマーク)、『LAVA(ラヴァ)』(ベルギー)、『ひつじ』(カナダ)などの上質なパフォーマンスをご家族でお楽しみください。夏休みは東京芸術劇場へ!

料金:大人2,000円、子ども(4歳~中学生)1,000円 他 ※無料イベントあり。 主催:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京芸術劇場、東京都/公益財団法人東京都歴史文化財団 助成:財団法人地域創造 チケット取扱:東京芸術劇場チケットサービス 他 ※公演スケジュール等、詳細はホームページをご覧ください。*当事業は東京文化発信プロジェクト事業です。



『ひつじ』(カナダ)



『名無しのエリーゼ』(ドイツ)

日・タイ共同制作

『Spicy, Sour, and Sweet』

8月13日(金)―15日(日)

芸術監督・野田秀樹が推薦するアーティストをフィーチャーした日本とタイの共同プロジェクト。今アジアでひととき異彩を放つ注目のフィジカルシアターによるコラボレーションの企画です。タイのB-Floorと日本の快快(ファイファイ)が、独自の身体表現を通して魅せる斬新なパフォーマンスに乞うご期待!

出演:快快 [faifai]、B-Floor 会場:東京芸術劇場 小ホール1 料金:一般前売3,500円(全席指定) 主催:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京芸術劇場、東京都/公益財団法人東京都歴史文化財団 チケット取扱:東京芸術劇場チケットサービス 他 [平成22年度文化庁国際芸術交流支援事業] ※公演スケジュール等、詳細はホームページをご覧ください。*当事業は東京文化発信プロジェクト事業です。



B-Floor『Crying Century』より



快快『Y時のほなし』2010より
撮影:加藤和也

おすすめスポット

展示室1・2

東京芸術劇場地下1階広場に面した2つの展示室は、絵画・写真等の作品発表の場として多くの人に親しまれてきました。プロフェッショナル、アマチュアを問わず利用されており、バラエティ豊かな催しが行われています。ほとんどが無料公開の催しですので、公演鑑賞の際は、いつもより少し早めに到着し、展示室に立ち寄るのを定番コースにはいかがでしょうか!?

公開時間:催し物による TEL:03-5391-2111





桑久保徹 (loom) 2010

桑久保徹展 [TWS渋谷]

8月7日(土)ー9月26日(日)

桑久保徹は、2003年東京都主催の公募展「トーキョーワンダーウォール(TWW)」に入選後、トーキョーワンダーサイト本郷での個展を経て、現在まで国内外のギャラリーでの個展や美術館などでのグループ展に精力的に参加しています。彼の作品は、絵画という美術における伝統的なメディアでありながら、様々な現代美術の展覧会に出展され、多くの人々をひきつけています。今回は、初期の作品から、本展で初めて発表される最新作までをご紹介します。

入場料：無料 会場：トーキョーワンダーサイト渋谷 休館：月曜日(祝日の場合は翌日)
主催：公益財団法人東京都歴史文化財団 トーキョーワンダーサイト
協力：小山登美夫ギャラリー



桑久保徹 (THE COMPANY) 2001

TWS-Emerging [TWS本郷]

138 大小島真木/139 中田有美/140 佐藤翠

7月3日(土)ー7月25日(日)

141 近あづき/142 堀口泰代/143 大石麻央

8月7日(土)ー8月29日(日)

TWS-Emergingは、東京都主催の公募展「トーキョーワンダーウォール(TWW)」と連携したプログラムです。TWW入選者より本年度は21名を選び、1年を通して個展形式で紹介していきます。また、TWS渋谷での展示(Team)やTWS青山:クリエイター・イン・レジデンスを拠点にした海外レジデンスとの交換プログラムへの派遣なども視野に入れ、各作家の活動をさらに広げることを目的とした支援を行っています。

入場料：無料 会場：トーキョーワンダーサイト本郷 休館：月曜日(祝日の場合は翌日)
主催：公益財団法人東京都歴史文化財団 トーキョーワンダーサイト



桑久保徹 (カーネーション) 2004



中田有美 (ピンクのバーカー) 2008



マルクス・シンヴァルト
《Ten In Love》2006

ココが見どころ!

「サイコアナリシス:現代オーストリアの眼差し」展を8月1日(日)までトーキョーワンダーサイト渋谷で開催中。フロイト、ヴァイトゲンシュタインを生んだオーストリアから、現代の肉体と都市に潜む闇と狂気を見つめる作品をご紹介します。

おすすめスポット

「OPEN STUDIO 2010」

トーキョーワンダーサイト青山:クリエイター・イン・レジデンスではアート、デザイン、音楽、建築といった創造的分野で活躍する国内外のクリエイターが常時滞在し、調査、制作を行っています。その制作の現場を一般に公開する「OPEN STUDIO」を月に1回開催。各分野のスペシャリストによるゲストトークなども実施しています。入場料:無料 次回開催予定日:9月25日(土)
※詳細は当館HP (<http://www.tokyo-ws.org>)をご覧ください。



8

アート&カルチャーカレンダー ART & CULTURE CALENDAR

■ 休館日は各館異なります。カレンダー下の休館日欄をご確認ください。
○ 下記は主な企画展と関連イベント、主催公演を中心としたスケジュール表です。
企画展以外に、常設展示室、映像ライブラリー、図書室を利用できる館もあります。
○ 掲載した情報は2010年6月現在の情報です。やむを得ない事情などで開催予定などが変更になることがあります。
○ 掲載情報以外の催事、入場料、その他詳細については、各館のホームページでもご案内しています。
* マークは、東京文化発信プロジェクト事業です。

AUGUST		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31		
		日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火		
東京都庭園美術館 TOKYO METROPOLITAN TEIEN ART MUSEUM																																		
		● 有田正広ミニコンサート 19日18:30~ 1階第1展示室 ● 有田正広ミニコンサート 16日18:30~ 1階第1展示室 ● フロアレクチャー 13日 15:30~ ● フロアレクチャー 27日 15:30~ ●																																
東京都江戸東京博物館 TOKYO METROPOLITAN EDO-TOKYO MUSEUM	1F 特別展	特別展 大昆虫博 6月22日~9月5日																																
	5F 企画展	東京復興—昭和20年代東京の軌跡— 8月4日 ~9月26日																																
江戸東京たてもの園 EDO-TOKYO OPEN AIR ARCHITECTURAL MUSEUM	展示室	特別展 けんちくのしくみ 6月19日~9月5日																																
	園内	● 下町夕涼み 1日 14:00~20:30 ● 武蔵野えどまる団 1日 13:00~16:30 ● 伝統工芸の実演 14日・15日 10:30~16:30 ● ミュージアムトーク 28日 14:30~ ●																																
東京都写真美術館 TOKYO METROPOLITAN MUSEUM OF PHOTOGRAPHY	3F 展示室	私を見て! スードのポートレイト 7月31日~10月3日																																
	2F 展示室	オノデラユキ 写真の迷宮へ 7月27日~9月26日																																
	B1F 展示室	世界報道写真展2010 6月12日~8月8日 おんな—立ち止まらない女性たち— 日本写真家協会創立60周年記念展 8月14日~8月29日																																
東京都現代美術館 MUSEUM OF CONTEMPORARY ART TOKYO	常設展示室	MOTコレクション 7月17日~10月3日																																
	3F・1F 企画展示室	借りぐらしのアリエッティ×種田陽平展 7月17日~10月3日																																
	B2F 企画展示室	こどものにわ 7月24日~10月3日																																
東京都美術館 TOKYO METROPOLITAN ART MUSEUM	企画展示室	● 改修工事のため休館（平成24年度リニューアル開館）																																
トーキョーワンダーサイト TOKYO WONDER SITE	本郷	TWS-Emerging 141/142/ 143 近あづき、堀口泰代、大石麻央 8月7日~8月29日																																
	渋谷	サイコアナリシス 5月29日~8月1日 桑久保徹展 8月7日~9月26日																																
	青山																																	

● 休館日:月曜日(祝日の場合は翌日) ※東京都庭園美術館は第2・4水曜日休館 ※江戸東京たてもの園は、1日9:30~20:30の開館(時間の変更あり) ※東京都現代美術館は、16・23・30日は臨時開館(ただし「こどものにわ」展は23・30日は休室)

東京文化会館 TOKYO BUNKA KAIKAN			● 休館日:6日~31日
1日 小ホール	夏の音楽浴II 北村朋幹ピアノリサイタル 開演:14:00	第8回東京音楽コンクール 本選 (ファイナル) 23日 声楽部門 開演:18:00 24日 金管部門 開演:18:00 26日 ピアノ部門 開演:18:00 27日 弦楽部門 開演:18:00 ※東京文化会館改修工事休館のため本選会場は東京芸術劇場大ホールとなります	23日~ 27日
2日 大ホール	《響の森》Vol.28 清水和音 3大ピアノコンチェルトに挑む 開演:19:00		
3日 小ホール	夏休みモーニングコンサート「ソプラノデュオのおいしいクラシック」 駒井ゆり子(ソプラノ)田中麻理(ソプラノ)若撫智子(ピアノ) 開演:11:00		
4日 大ホール	夏休み子ども音楽会2010(上野の森文化探検) 大友直人(指揮とお話) 東京都交響楽団(管弦楽) 開演:11:00		
4日・5日 大ホール	夏休みバックステージツアー 4日開始:13:30 5日開始:11:00/14:00		

東京芸術劇場 TOKYO METROPOLITAN ART SPACE			● 休館日:16日~21日
6日 大ホール	クラシカル・プレイヤーズ東京 演奏会 開演:18:30		
7日・8日 小ホール2	オックスフォード大学演劇協会 (OUDS) 「ジャジャ馬ならし」 ※詳細はP15参照		
10日 大ホール	ランチタイム・バイブオルガン コンサートVol.91 開演:12:15 新山恵理(オルガン)太田光子、浅井愛、水内謙一(リコーダー)		
6日~8日 小ホール1	*TACT / FESTIVAL TOKYO ※詳細はHPへ		
10日~15日 小ホール2	*TACT / FESTIVAL TOKYO ※詳細はHPへ		
13日~15日 小ホール1	日・タイ共同制作「Spicy,Sour,and Sweet」 出演:快快[faifai]、B-Floor ※詳細はHPへ		

東京文化発信プロジェクト TOKYO CULTURE CREATION PROJECT		
1日	墨東まち見世2010参加企画「墨東区在住アトレウス家」公演 ※詳細は東京アートポイント計画HPへ	
20日~22日 24日・31日	東京発・伝統WA感動 伝統芸能公演 20~22日 邦楽入門ワークショップ(予定) 会場:水天宮ビッド 24日「芸の真髓」 清元~清き流れひと元~ 会場:国立劇場大劇場 会場:東京芸術劇場中ホール ※詳細はP25参照	
7日・8日・12日 27日・28日	パフォーマンスキッズ・トーキョー発表会 ※詳細はHPへ	

9

アート&カルチャーカレンダー ART & CULTURE CALENDAR

■ 休館日は各館異なります。カレンダー下の休館日欄をご確認ください。
○ 下記は主な企画展と関連イベント、主催公演を中心としたスケジュール表です。
 企画展以外に、常設展示室、映像ライブラリー、図書室を利用できる館もあります。
○ 掲載した情報は2010年6月現在の情報です。やむを得ない事情などで開催予定などが変更になることがあります。
○ 掲載情報以外の催事、入場料、その他詳細については、各館のホームページでもご案内しています。
* マークは、東京文化発信プロジェクト事業です。

SEPTEMBER		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
		水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
東京都庭園美術館 TOKYO METROPOLITAN TEIEN ART MUSEUM		没後25年 有元利夫展 ― 天空の音楽 7月3日～9月5日												きらめく装いの美 香水瓶の世界 9月18日～11月28日																	
東京都江戸東京博物館 TOKYO METROPOLITAN EDO-TOKYO MUSEUM	1F 特別展	特別展 大昆虫博 6月22日～9月5日												特別展 隅田川～江戸が愛した風景～ 9月22日～11月14日																	
	5F 企画展	東京復興 ― 昭和20年代東京の軌跡 ― 8月4日～9月26日																													
江戸東京たてもの園 EDO-TOKYO OPEN AIR ARCHITECTURAL MUSEUM	展示室	特別展 けんちくのかすみ 6月19日～9月5日												常設展示 旧武蔵野郷土館展(仮称) 9月25日～12月12日																	
	園内	伝統工芸の実演 11日・12日 10:30～16:30 ●●												ミュージアムトーク 25日 14:30～● 武蔵野えどまる団 18日・19日 13:00～16:30 ●●																	
東京都写真美術館 TOKYO METROPOLITAN MUSEUM OF PHOTOGRAPHY	3F 展示室	私を見て! ヌードのポートレイト 7月31日～10月3日																													
	2F 展示室	オノデラユキ 写真の迷宮へ 7月27日～9月26日																													
	B1F 展示室	黒澤明生誕100年記念画コンテ展 映画に捧ぐ 9月4日～10月11日																													
東京都現代美術館 MUSEUM OF CONTEMPORARY ART TOKYO	常設展示室	MOTコレクション 7月17日～10月3日																													
	3F・1F 企画展示室	借りぐらしのアリエッティ×種田陽平展 7月17日～10月3日																													
	B2F 企画展示室	こどものにわ 7月24日～10月3日																													
東京都美術館 TOKYO METROPOLITAN ART MUSEUM	企画展示室	●改修工事のため休館(平成24年度リニューアル開館)																													
トーキョーワンダーサイト TOKYO WONDER SITE	本郷	卒業制作選抜作品展(仮題) 9月4日～9月26日																													
	渋谷	桑久保徹展 8月7日～9月26日																													
	青山													● OPEN STUDIO 25日																	

● 休館日：月曜日(祝日の場合は翌日) ※東京都庭園美術館は第2・4水曜日休館 ※東京都江戸東京博物館は13・21日は臨時開館

東京文化会館 TOKYO BUNKA KAIKAN		主な主催公演	● 休館日: 1～4日、27日、28日
8日 小ホール	創遊・楽落らいぶVol.13 三笑亭夢丸(落語)	開演: 11:00	
10日 大ホール	*青少年のための舞台芸術体験プログラム 英国ロイヤル・オペラ「マノン」(公開リハーサル) ※詳細はHPへ		
15日 小ホール	モーニングコンサートVol.40 加藤大樹(ピアノ)	開演: 11:00	
29日 大ホール	東京文化会館公開リハーサル 第703回東京都交響楽団定期演奏会Aシリーズ	開演: 11:30 ※要事前申込	

東京芸術劇場 TOKYO METROPOLITAN ART SPACE		主な主催公演	● 休館日: 13日、27日
16日 大ホール	ランチタイム・パイプオルガン コンサートVol.92 オルガン/小林 英之※アンサンブルを予定	開演: 12:15	
	無料		

東京文化発信プロジェクト TOKYO CULTURE CREATION PROJECT	
	東京発・伝統WA感動 キッズ伝統芸能体験 4日開講式 会場: 国立能楽堂
4日・25日	伝統芸能公演 4日演奏(りそらがく) 会場: 国立劇場大劇場 25日演奏得仏(とうけとくぶつ) 会場: 国立劇場大劇場 ※詳細はP25参照
25日・26日	ミュージック&リズムス TOKYO KIDS 都庁前 都民広場 (リハーサル&発表コンサート) ※詳細はP25参照

東京文化発信プロジェクト



TOKYO CULTURE CREATION PROJECT

http://www.bh-project.jp
TEL:03-5638-8800(東京文化発信プロジェクト室)

東京文化発信プロジェクトとは、東京ならではの芸術文化の創造・発信、芸術文化を通じた子どもたちの育成を目的として、東京都と公益財団法人東京都歴史文化財団が芸術文化団体、アートNPO等と協力して実施しているプロジェクトです。

東京発・伝統WA感動

キッズ伝統芸能体験

能楽(謡・仕舞・狂言・囃子)・日本舞踊・箏曲・長唄(三味線・囃子)の一流の芸術家が子どもたちを直接指導。7ヵ月にわたる稽古を積み重ね、3月に「ひのき舞台」でその成果を発表します。

参加募集期間 7月1日(木)~7月31日(土)
お試し体験・見学会 7月24日(土)・7月25日(日) 会場:芸能花伝舎 ※無料・要予約
開講式 9月4日(土) 会場:国立能楽堂 ※以後、コースごとに稽古をスタート
参加費:10,000円(全20回/稽古18回、リハーサル1回、発表会1回) 対象:小学生~高校生 お問合せ:「キッズ伝統芸能体験」事務局(社)芸団協内 TEL 03-5909-3060 ※参加募集についての詳細は、東京文化発信プロジェクトホームページをご覧ください。



伝統芸能公演

テーマは、「声—語る・唄う」。能と邦楽「隅田(すだ)の四季」を中心に、様々なスタイルで邦楽に触れる「邦楽入門ワークショップ」、天台声明や民俗芸能など、幅広い伝統芸能をお楽しみいただけます。

邦楽入門ワークショップ 8月20日(金)~22日(日)<予定> 会場:水天宮ビッド
邦楽「芸の真髄」 清元~清き流れひと元~ 8月24日(火) 会場:国立劇場大劇場
能と邦楽「隅田(すだ)の四季」 8月31日(火) 会場:東京芸術劇場中ホール
邦楽「狸奏楽(りそうがく)」 9月4日(土) 会場:国立劇場大劇場
天台声明「投華得仏(とうけとくぶつ)」 9月25日(土) 会場:国立劇場大劇場
民俗芸能「東京・江戸の賑わい その2 芝居と語り芸—東京・江戸の庶民の娯楽—(仮)」 10月9日(土) 会場:国立劇場小劇場
入場料:有料 お問合せ:東京発・伝統WA感動実行委員会事務局 TEL03-3467-5421
※詳細は公式HP(<http://www.dento-wa.jp/>)をご覧ください。

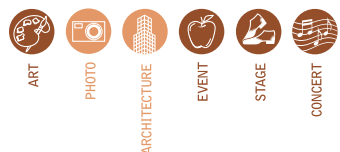


「東京発・伝統WA感動」主催:東京都、東京文化発信プロジェクト室(公益財団法人東京都歴史文化財団)、東京発・伝統WA感動実行委員会

ミュージック&リズムス TOKYO KIDS

世界で活躍する演奏家たちの指導のもと、子どもたちが自然の中で竹を使った楽器を自分で作り、音楽を創り出すワークショップを開催、最後は発表コンサートも行います。

ワークショップ 8月21日(土)~9月20日(月) 会場:高尾の森わくわくビレッジ、世田谷区立池尻小学校、台場区民センター
リハーサル 9月25日(土) 発表コンサート 9月26日(日) 会場:都庁前 都民広場
参加費:3000円 対象:小学生~中学生 主催:東京都、東京文化発信プロジェクト室(公益財団法人東京都歴史文化財団)、ミュージック&リズムス TOKYO KIDS実行委員会 お問合せ:ミュージック&リズムス TOKYO KIDS実行委員会
TEL 03-3353-9927 ※参加申し込みについての詳細は、東京文化発信プロジェクトHPをご覧ください。



下町情緒あふれる墨田区向島・京島地域のまちなかを舞台としたアートプロジェクトがコア期間に向けて動き出しています。7月末には墨田区の古い空き家にギリシア劇をインストールするプロジェクト「墨田区在住アートレウス家」を実施します。 <http://machimise.net/>

東京文化発信プロジェクト室 地域文化交流推進係 橋本誠

アートや文化の担い手を育てる人材育成プログラム 「Tokyo Art Research Lab」

「Tokyo Art Research Lab」は、未検証の事例や現在進行形の事例を分析・検証するリサーチプロジェクトです。生活圏に潜む課題や可能性を分析・検証することで、アートプロジェクトを持続可能にするシステムを構築することを目指します。

本プログラムでは、まちなかでのアート活動を創出するために必要な人材の育成を行う連続ゼミ・集中合宿セミナーを実施する他、地域・社会とアートについての新たな「知」を生み出すことに特化した公開講座などを実施します。各ゼミは、講座のコーディネーター、リサーチや受講生のとりまとめなどを行うリサーチ・アシスタント(RA)、RAの片腕の役割を担うインターン、そして受講生の四者が一体となって運営されていきます。それぞれのゼミ・講座は単体で完結せず、他のゼミ・講座との横のつながりを最大限活用し、連携講座などの事業を行っていきます。これによって、Tokyo Art Research Lab全体が、アート・文化をめぐる「知」のうねりをつくりだすことを目指しています。

●連続ゼミ・集中合宿セミナー

- ①アートプロジェクトの0123/小川希(Art Center Ongoing/一般社団法人 TERATOTERA)
- ②プロジェクト運営ぐるっと360度/帆足垂紀(アートコーディネーター)
- ③「見巧者」になるために 批評家・レビュー養成講座/小崎哲哉(REAL TOKYO / REAL KYOTO)
- ④アートプロジェクトを評価するために~評価のなぜ?を徹底解剖/若林朋子(社団法人企業メセナ協議会)
- ⑤アート活動としてのアーカイブ/NPO法人アート&ソサイエティ研究センター
- ⑥アートのお金と法律入門/Arts and Law(NPO法人コミュニティデザイン協議会)

●公開講座

- ①日本型アートプロジェクトの歴史と現在 1990-2010/熊倉純子(東京藝術大学)
- ②Tokyo Art School 2010/NPO法人アーツインシアティヴウキョウ(AIT/エイト)
- ③世界の現場から Talk&Cast
- ④トークシリーズ「東京を考える、語る」/川俣正(美術家)

主催:東京都、東京文化発信プロジェクト室(公益財団法人東京都歴史文化財団)

*詳細は公式ホームページ 東京アートポイント計画HP <http://www.bh-project.jp/artpoint/app/lab.html>をご覧ください。

おすすめスポット

「TOKYO ARTPOINT PROJECT ROOM 302」

人材育成プログラムの「Tokyo Art Research Lab」の活動スペースです。東京の様々な場所で新しい活動をはじめようとする人々が出会い、ネットワークや活動を創り出していく場所として、レクチャー、ワークショップ、トークシリーズなど多角的なプログラムを展開していきます。 TOKYO ARTPOINT PROJECT ROOM 302 東京都千代田区外神田6-11-14 [3331Arts Chiyoda 3F]



地図&インフォメーション

公益財団法人東京都歴史文化財団 トーキョー・アート・ナビゲーション
<http://www.rekibun.or.jp> <http://tokyoartnavi.jp>

公益財団法人東京都歴史文化財団管轄施設の観覧料について(対象:東京都庭園美術館の庭園、東京都江戸東京博物館、江戸東京たてもの園及び東京都現代美術館の常設展、東京都写真美術館の収蔵展・映像展)
 ●都内在住・在学の中学生・小学生は無料。●65歳以上の方は、一般料金の半額。●毎月第3土曜、第3日曜(家族ふれあいの日)は、18歳未満のお子さまを同伴する方は半額。●観覧料の記載がない場合は、展覧会、催物によって金額が異なります。

01 東京都美術館 TOKYO METROPOLITAN ART MUSEUM



所在地:〒110-0007台東区上野公園8-36 開:9:00-17:00 休:毎月第3日曜日、企画展は月曜日(祝日・振替休日の場合はその翌日)・年末年始・工事休館日 交通:JR上野駅公園口より徒歩7分/東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅7番出口より徒歩10分/京成電鉄上野駅より徒歩10分(※改修工事のため全面休館中、平成24年度リニューアル開館)

02 東京文化会館 TOKYO BUNKA KAIKAN



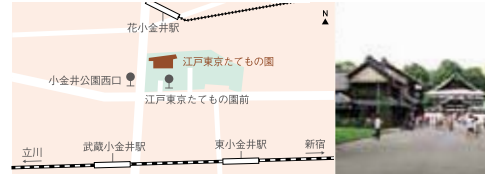
所在地:〒110-8716台東区上野公園5-45 開:9:00-22:00 休:年末年始・保守点検日・他 交通:JR上野駅公園口より徒歩1分/東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅7番出口より徒歩5分/京成電鉄上野駅より徒歩5分

03 東京都江戸東京博物館 TOKYO METROPOLITAN EDO-TOKYO MUSEUM

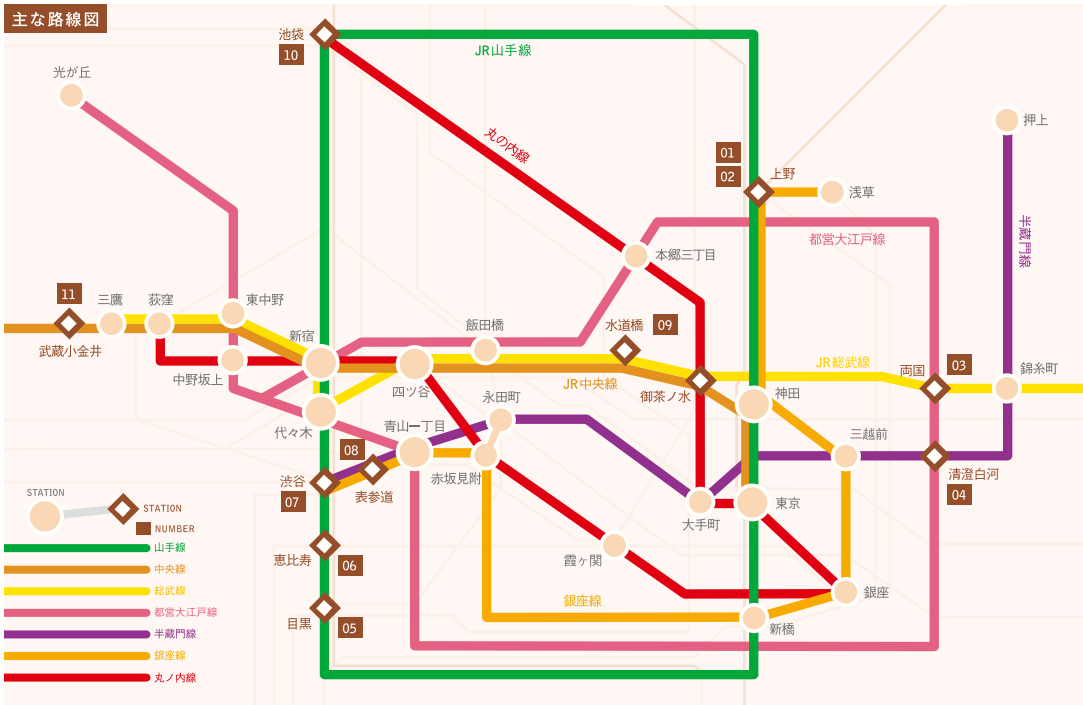


所在地:〒130-0015墨田区横綱1-4-1 開:9:30-17:30(土・日・祭日) 休:月曜日(祝日・振替休日の場合はその翌日)・年末年始・国技館で大相撲本場所開催中は開館 観覧料:<常設展>一般600円・大学生480円・65歳以上300円・中・小学生・都内中学生無料 交通:JR両国駅西口より徒歩3分/都営大江戸線両国駅A4出口より徒歩1分

11 江戸東京たてもの園 EDO-TOKYO OPEN AIR ARCHITECTURAL MUSEUM



所在地:〒184-0005小金井市桜町3-7-1 開:9:30-17:30(10~3月・16:30) 休:月曜日(祝日・振替休日の場合はその翌日)・年末年始 観覧料:一般400円、大学生320円、65歳以上200円、中・高生200円、都内中・小学生無料 交通:JR武蔵小金井駅北口よりバス、2・3のりばより「小金井公園西口」下車徒歩5分/4のりばより「江戸東京たてもの園前」下車徒歩3分/西武新線花小金井駅南口よりバス、「南花小金井」(小金井街道沿い)バス停より「武蔵小金井駅」行、「小金井公園西口」下車徒歩5分

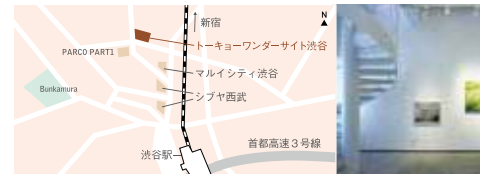


08 トーキョーワンダーサイト青山 TOKYO WONDER SITE AOYAMA CREATOR-IN-RESIDENCE



所在地:〒150-0001渋谷区神宮前5-53-67コスモス青山SOUTH棟3F 開:オープスタジオ、レクチャー等開催時のみ一般開館 交通:東京メトロ銀座線・千代田線・半蔵門線表参道駅B2出口より徒歩7分

07 トーキョーワンダーサイト渋谷 TOKYO WONDER SITE SHIBUYA



所在地:〒150-0041渋谷区神南1-19-8 開:11:00-19:00 休:月曜日(祝日・振替休日の場合はその翌日)・年末年始 交通:JR・東急東横線・京王井の頭線・東京メトロ銀座線・半蔵門線・副都心線渋谷駅ハチ公口より徒歩8分

06 東京都写真美術館 TOKYO METROPOLITAN MUSEUM OF PHOTOGRAPHY



所在地:〒153-0062目黒区三田1-13-3(恵比寿ガーデンプレイス内) 開:10:00-18:00(木・金・土・日) 休:月曜日(祝日・振替休日の場合はその翌日)・年末年始 交通:JR恵比寿駅東口より徒歩7分/東京メトロ日比谷線恵比寿駅より徒歩10分

10 東京芸術劇場 TOKYO METROPOLITAN ART SPACE



所在地:〒171-0021豊島区西池袋1-8-1 開:9:00-22:00 休:年末年始・保守点検日(毎月2日間程度)・工事休館日(6月 12日間程度) 交通:JR・東武東上線・西武池袋線・東京メトロ丸の内線・有楽町線・副都心線池袋駅西口より徒歩2分

09 トーキョーワンダーサイト本郷 TOKYO WONDER SITE HONGO



所在地:〒113-0033文京区本郷2-4-16 開:11:00-19:00 休:月曜日(祝日・振替休日の場合はその翌日)・年末年始 交通:JR御茶ノ水駅・水道橋駅、東京メトロ丸の内線御茶ノ水駅、都営大江戸線本郷三丁目駅各駅よりそれぞれ徒歩7分

05 東京都庭園美術館 TOKYO METROPOLITAN TEIEN ART MUSEUM



所在地:〒108-0071港区白金台5-21-9 開:10:00-18:00 休:第2・第4水曜日(祝日・振替休日の場合はその翌日)・年末年始 交通:都営三田線・東京メトロ南北線白金台駅1番出口より徒歩6分/JR目黒駅東口・東急目黒線目黒駅正面口より徒歩7分

東京都美術館

TOKYO METROPOLITAN ART MUSEUM

http://www.tobikan.jp/ TEL:リニューアル準備室 / 03-5806-3792 事業係(展覧会関係)
03-5806-3723 交流担当(公募展) / 03-5806-3726 (管理係)

改修に伴う全面休館のお知らせ

平成22年4月5日(月)から約2年間、
改修のため全面休館いたします。

新生・東京都美術館は、「アートへの入口」となることをめざします。
展覧会を鑑賞する、子どもが初めて訪れる、芸術家の卵が初めて出品する、
障害を持つ人が何のためらいもなく来館できる美術館となります。
訪れた人が、新しい価値観に触れ、自己を見つめ、
世界との絆が深まる「創造と共生の場＝アート・コミュニティ」を築き、
「生きる糧としてのアート」に出会える場とします。

- 人びとの交流の場となり、新しい価値観を生み出す美術館
- 芸術活動を活性化させ、鑑賞の体験を深める美術館
- 伝統を重視し、新しい息吹との融合を促す美術館
- 世界と日本の名品に出会える美術館

これらを実現することで、
東京都美術館を人びとの「心のゆたかさの拠り所」となるようにします。

皆様には大変ご迷惑をおかけいたしますが、
平成24年度のリニューアル開館に、どうぞご期待ください。



改修イメージ図

TOKYO DIGITAL MUSEUM トーキョーデジタルミュージアム

収蔵品検索サイト



TOKYO DIGITAL MUSEUM (トーキョーデジタルミュージアム) は、東京都江戸
東京博物館・東京都写真美術館・東京都現代美術館の収蔵品検索サイトです。
「注目のコレクション」では、各ミュージアムの注目のコレクションを詳しい解説
付で紹介。そのほか、「歴史的建造物検索」では、江戸東京たてもの園の建造物
を含む、都内の歴史的建造物を検索することもできます。ぜひ一度、チェックして
みてください。

発行：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都墨田区横網1-4-1 tel.03-5610-3503
企画：公益財団法人東京都歴史文化財団 事務局総務課企画広報係
編集：びあ株式会社
印刷・製本：光写真印刷株式会社
編集：齋藤由美、渋谷敦子、平原郁子(びあ株式会社)
取材・文：木谷節子
アートディレクション：一ノ瀬光太郎(株式会社ミニストリー・オブ・デザイン)
デザイン：田戸康史(MOD workshop)
撮影(表紙・巻頭)：福田栄美子
スタイリスト(表紙・巻頭)：黒崎彰
ヘアメイク(表紙・巻頭)：SHIZUE
©Tokyo Metropolitan Foundation for History and Culture
本誌掲載の記事、写真の無断複写、複製を禁じます。

公益財団法人 **東京都歴史文化財団**
TOKYO METROPOLITAN
FOUNDATION FOR
HISTORY AND CULTURE



「トーキョー・アートナビゲーション」
携帯サイトへGO!
公益財団法人東京都歴史文化財団各施設の
情報をチェックできます
→ tokyoartnavi.jp